

News Release

2004年6月14日

インテリジェンスがビジネスパーソン 1,000 人を対象に
『はたらくを楽しもう調査』を実施 < 結果速報 >

～ 約 6 割が「仕事を楽しんでいる」と回答 ～
“はたらくを楽しんでいる”人は微増傾向

調査結果から「“はたらくを楽しむ”ための 5 か条」を提言

総合人材サービスを展開する株式会社インテリジェンス（本社：東京都千代田区丸の内 代表取締役社長：鎌田和彦）は、今年 5 月に、東京圏及び京阪神の 20～40 代の男女ビジネスパーソン 1,050 名を対象とした、「働くこと」に関する意識調査を実施しました。

インテリジェンスは、「誰もが前向きに仕事をしていくことができる社会」の実現を目指して、今年 5 月に新しい企業ブランドスローガン「はたらくを楽しもう™」を定めました。今回の調査ではフリーアンサーを含む 120 以上に及ぶ質問によって、はたらくことを楽しんでいる人の価値観や行動の特徴、楽しむための秘訣やメンタルな要素などを探りました。

調査結果の速報として“はたらくを楽しむ”感情につながる意識や価値観を抽出できましたので、集計の概要を発表します。また、今回の調査結果から、ビジネスパーソンのための“はたらくを楽しむ”ための 5 か条」を提言いたします。今後、更に様々な角度から調査結果を分析し、続報の発表も予定しています。

「“はたらくを楽しむ”ための 5 か条」

1. 自分の未来を想像してみよう
2. 人と濃くつきあおう
3. アイム ラッキーと唱えよう
4. 突然のできごとにワクワクしよう
5. ココロの声を聴いてみよう

<調査結果の要点>

はたらくことを楽しんでいる人は全体の約6割【添付データ(1)参照】

- はたらくを「楽しんでいる人」は56.7%、「楽しんでいない人」は43.3%と、**約6割の人が現在、仕事を楽しんでいる**ことがわかりました。
- 性、年代、居住地域、勤務先規模などで、はたらくを「楽しんでいる人」と「楽しんでいない人」との間に大差は見られず、はたらくことを楽しんでいるか否かは、生活環境や、個人属性によらないことがわかりました。

「楽しくなかった 楽しくなった」に変化した人は約3割で、

はたらくことを楽しんでいる人は微増傾向【添付データ(2)参照】

- 「以前楽しくなかったが、楽しくなった」と回答した人は全体の**28.9%**で、その内の8割近くの人
が、その変化を3年以内に経験していることがわかりました。
- また、はたらくが「楽しくなった人」は、「楽しくなくなった人」の24.2%を上回っており、はたらくことを楽しんでいる人は微増傾向にあることが推測されます。

楽しくなった変化のきっかけの多くは環境の変化

考え方や行動を自ら変える“自己変革”をあげた人も【添付データ(3)参照】

- 「楽しくなかった 楽しくなった」に変化した人に、変化のきっかけを自由回答で答えてもらい分析したところ、「転職」(76件)、「異動・出向」(36件)、「上司が変わった」(21件)、「人間関係が変わった」(21件)などの職場環境の変化が278件、「結婚」(21件)、「子供ができた」(18件)などのプライベートな生活環境の変化が93件と、環境の変化が多くあがりました。
- また、「自分から率先して取り組んだ」(9件)、「勉強した」(8件)、「楽しむように心がけた」(7件)など、仕事に対する考え方や行動を自ら変える“自己変革”も64件あがりました。

はたらくことを楽しんでいる人の特徴【添付データ(4)参照】

「楽しんでいる人」と「楽しんでいない人」で仕事や職場、人間関係に関する意識や価値観、考え方を比較した結果、両者の回答でギャップの大きかった項目は；

- ビジョンが明確
- 人と積極的に関わる
- 楽観的で前向きな考えかた
- 逆境・変化など異質なものに柔軟に対応
- 自己実現意欲が高い

でした。

これらは「はたらくを楽しんでいる人」を特徴づける要素であると考えられます。

<インテリジェンスからの提言>

「はたらくことを楽しんでいる人」の特徴としてあがった5つの要素は、いずれも「はたらくことを楽しむ」ために必要なスキルです。一方、仕事に対する考え方・価値観や行動・習慣を自ら変える“自己変革”によって、“はたらくことが楽しくなった”ビジネスパーソンが存在したということは、注目したい事実です。

今回の調査でビジネスパーソンの6割が仕事を楽しみ、はたらくことを楽しんでいる人が微増傾向にあることがわかりました。この増加傾向をさらに伸ばしていくことに、当社は新しいブランドスローガンの元、取り組んでいきたいと思っています。

はたらくことを楽しめるか否かは、環境によるところが多いという結果が出ています。その一方、自らできる「はたらくことを楽しむ」ためのスキルアップは、誰もが今すぐ取り組めるアクションです。そこで、ここに【“はたらくを楽しむ”ための5か条】を提言します。

【“はたらくを楽しむ”ための5か条】

「自分の未来を想像してみよう」

未来のなりたい自分を具体的に描こう。そうすれば一見つまらない、価値がないと思える仕事にも、取り組む意味や価値が見つかるはず。

「人と濃くつきあおう」

上司・部下や家族 自分を取り巻く人たちと濃いコミュニケーションをしよう。意見を交換しあおう。まずは自分からの積極的な働きかけを！

「アィム ラッキーと唱えよう」

物事をまずは楽観的に考えてみる。そして、“自分は運がいい”と信じ、時には思い切り自分を褒めてみよう。

「突然のできごとにワクワクしよう」

変化や異質なものに会ったら、否定や拒絶よりもまず好奇心！さらにその出会いを楽しんでしまおう。

「ココロの声を聴いてみよう」

お金で測れない価値や得られない賞賛や満足感は、きっとはたらくを楽しくする。

<株式会社 インテリジェンスについて>

株式会社インテリジェンスは、1989年の創業以来“人と組織を多様な形で結ぶ「インフラとしての人材サービス」を提供し社会発展に貢献する“という企業ビジョンのもと、人材に関する多様なサービスを展開しています。（提供サービス：人材紹介、人材派遣、エンジニア派遣、テクニカルアウトソーシング、アルバイト求人サイト、製造請負・製造派遣、再就職支援、エグゼクティブサーチ、組織・人事コンサルティング）詳しくは、当社ホームページ<www.inte.co.jp>をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社インテリジェンス 統括本部経営企画部 担当：山崎、杉村
〒100-6328 東京都千代田区丸の内2-4-1 丸の内ビルディング 27F、28F
TEL：03-6213-9052 FAX：03-6213-9051
URL：<http://www.inte.co.jp/> e-mail：pr@inte.co.jp

添付データ

<調査概要>

調査対象 20～49才の有職者（正社員・派遣・契約社員）
男女 1,050人

調査地域 東京圏（埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県）
京阪神（京都府・大阪府・兵庫県）

調査方法 インターネットリサーチ

調査時期 2004年5月14日（金）～5月15日（土）

		東京圏 (東京 神奈川 千葉 埼玉)	京阪神 (大阪 兵庫 京都)
性 年 代 別	男性20代	89	89
	男性30代	87	88
	男性40代	87	88
	女性20代	86	90
	女性30代	86	86
	女性40代	88	86

(1)「はたらくを楽しむ」現状

調査対象者全員に対して、「あなたは現在のはたらくこと、つまり自分の仕事を楽しんでいると思いますか？」と質問したところ、約6割がはたらくを「楽しんでいる」と回答。但し、性別、年代、地域、勤務先規模などで比較分析した結果、「はたらくを楽しんでいる」度合いは、生活環境や個人属性によらないことがわかりました。

<全体>

楽しんでいる	楽しんでいない
56.7%	43.3%

<男女別>

	楽しんでいる	楽しんでいない
男性	55.9%	44.1%
女性	57.5%	42.5%

<世代別>

	楽しんでいる	楽しんでいない
20代	58.5%	41.5%
30代	56.5%	43.5%
40代	55.0%	45.0%

<地域別>

	楽しんでいる	楽しんでいない
東京圏	55.8%	44.2%
京阪神	57.5%	42.5%

<勤務先規模>

	楽しんでいる	楽しんでいない
5000人以上	57.4%	42.6%
1000人～4999人	53.8%	46.2%
300人～999人	58.9%	41.1%
100人～299人	58.6%	41.4%
50人～99人	58.7%	41.3%
49人以下	55.3%	44.7%
わからない	50.0%	50.0%

(2)「楽しくなかった 楽しかった」に変化した人は全体の約3割

対象者全員に対して、現在のはたらく楽しさは「過去と比較して変化がありましたか。それとも変わらず同じですか」と質問したところ、全体の28.9%が、「過去は楽しくなかったが、現在は楽しい」と、ポジティブな変化を経験していることがわかりました。さらに変化の時期を質問したところ、1年未満が42.2%、1年以上～3年未満が34.3%と、1年未満の変化が上回り、8割近くの人々が3年以内に「楽しかった」に移行しました。

また、はたらくことが「楽しかった人」は、「楽しくなくなった人」の24.2%を上回っており、はたらくことを楽しんでいる人は微増傾向にあることが推測されます。

<楽しんでいる人の変化の有無>

変わらず楽しい(楽しい 楽しい)	楽しかった(楽しくなかった 楽しい)
49.1%	50.9%

<全体の変化の内訳>

楽しい 楽しい	楽しくなかった 楽しい	楽しかった 楽しくない	楽しくない 楽しくない
27.8%	28.9%	24.2%	19.1%

<楽しかった人の変化の時期>

~1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上前
42.2%	34.3%	15.5%	6.9%	1.0%

(3)「はたらくが楽しかった」変化のきっかけ

全体の28.9%の「楽しくなかった 楽しかった」と答えた人に対して、変化のきっかけについて自由回答で答えてもらったところ、上位回答は以下の通りでした。

<「はたらくが楽しかった」きっかけ上位内訳>

職場環境 (278件)

- 1位 転職した 76件
- 2位 異動・出向した 36件
- 3位 上司が変わった/上司が引退した 21件
- 3位 人間関係が変わった/良くなった 21件
- 5位 昇格した 15件

プライベート (93件)

- 1位 結婚 21件
- 2位 子供ができた 18件
- 3位 仲間・友人との出会い 11件
- 4位 恋愛 10件
- 4位 引っ越した、新居購入 10件

自己変革 (64件)

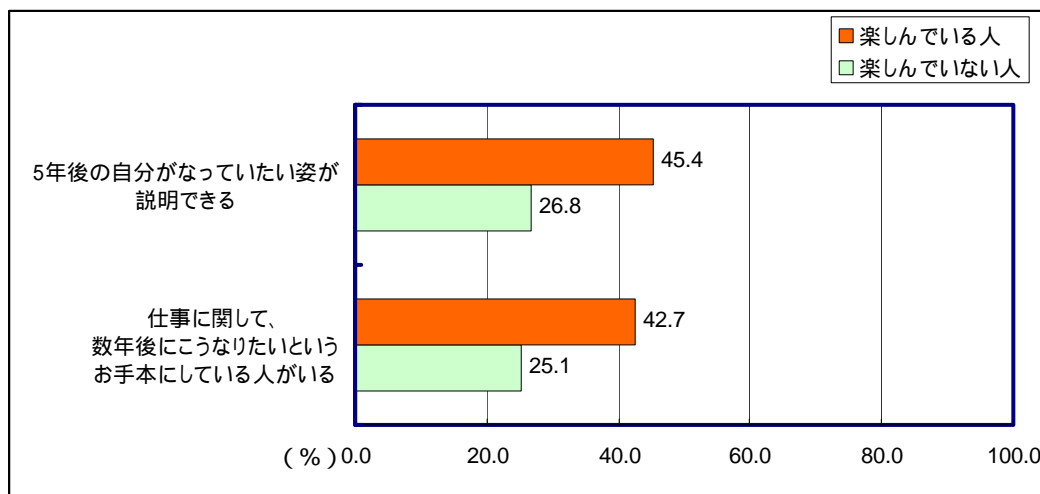
- 1位 自分から率先して取り組むようにした 9件
- 2位 勉強した 8件
- 3位 楽しむように心がけた 7件
- 3位 価値観が変わった 7件
- 5位 朝型にした 6件

(4) はたらくを楽しんでいる人の意識や価値観

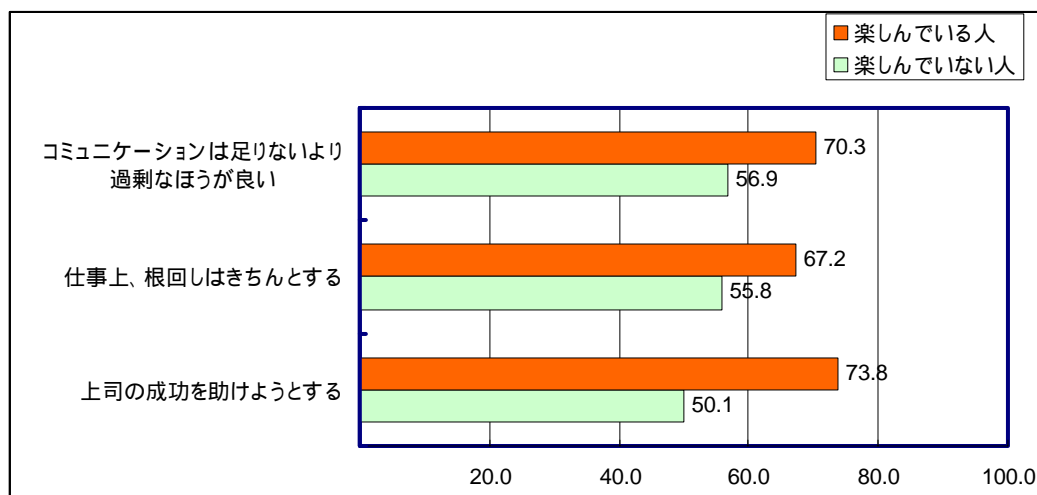
はたらくを「楽しんでいる人」と「楽しんでいない人」の、仕事や職場、人間関係に関する意識や価値観を比較するため13項目65問の設問で調査したところ、両者には、いくつかの要素について大きなギャップがあることがわかりました。スコアキャップが大きく、出現頻度も40%以上の項目を、はたらくを「楽しんでいる人」の特徴としてあげました。

ここから、「はたらくを楽しんでいる人」は、意識や価値観に特徴があり、仕事や、仕事を通じて遭遇する様々な局面に対してポジティブに考え、前向きに取り組み、人と積極的にかかわる人であることがわかりました。

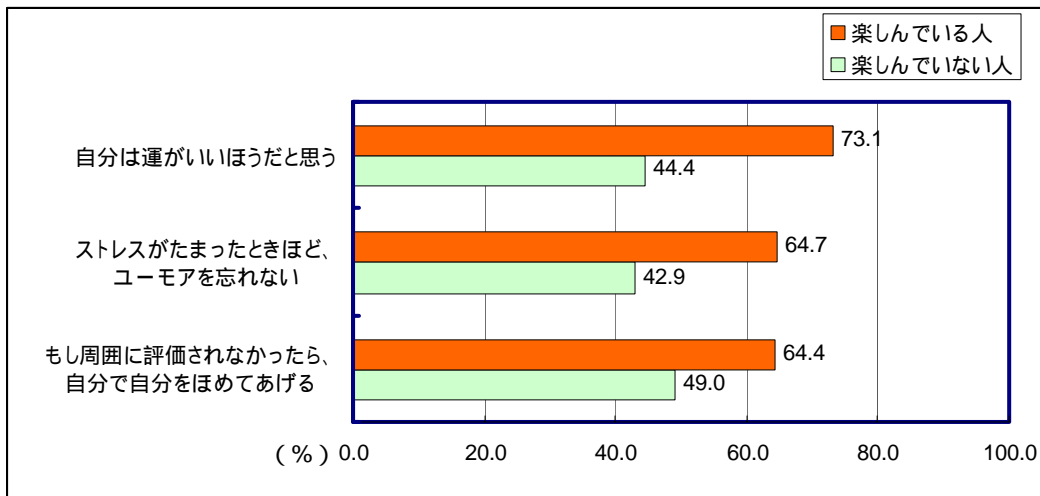
特徴 ビジョンが明確



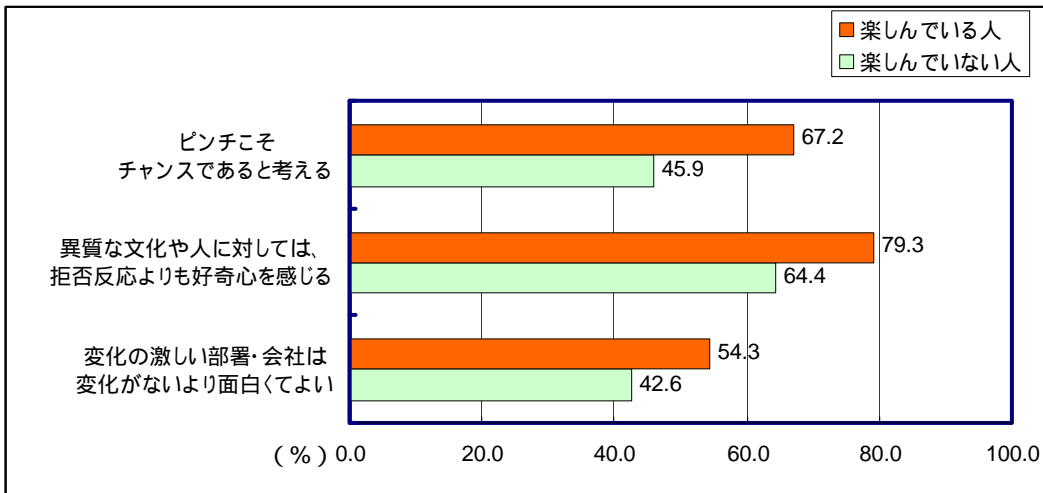
特徴 人と積極的に関わる



特徴 楽観的で明るい考えかた



特徴 逆境・変化など異質なものに柔軟に対応



特徴 自己実現意欲が高い

